

# 令和 かわら版

第24号  
諏訪形自治会  
会長山越敏雄

## 伊那市西春近諏訪形区との交流会がありました

七月六日(土) 恒例の諏訪形自治会と伊那市西春近諏訪形区の交流会が開催されました。

本年は伊那市諏訪形の皆さんを上田にお招きしての交流会となりました。当日は小松和義区長さんをはじめ、歴代の区長さんや本年の各地区総代の皆さん(諏訪形自治会では協議員に当たる皆さんです)八名にお越しいただき、上田市諏訪形からは正副自治会長、協議員の皆さん、自治顧問の皆さんが参加しました。

梅雨の晴れ間となった晴天の下、ちよっと暑すぎる日でしたが、今年の交流会ではまず、窪田善雄自治会顧問の案内で無言館と前山寺を見学していただきました。

無言館はご存じのとおり、戦没画学生作品を中心とした美術館で、上田の大切な財産として一度は見学していただきたい施設です。伊那の皆さんは作品や解説文などを熱心に見学しておられました。

次に、近くの前山寺に移動し、国の重要文化財にも指定され、「未完成の完成の塔」とも呼ばれている三重の塔を見学していただき、上田の文化に触れていただきました。その後、時期はまだちよっと早かったのですが「あじさいの小径」の散策もしていただきました。

その後会場を移し、自己紹介をした後、会食をしながら両自治会に共通する課題への取り組みについてや、本年度四十五周年を迎えた交流会のあり方などについて意見交換を行いました。



また、伊那市諏訪形区長沢元区長さんによるすばらしい「木遣り」も披露されました。なお、伊那市諏訪形区では「本家」の諏訪大社と同様、数えて七十年一度の「御柱祭」が地域を挙げて盛大に行われています。



## 諏訪形公民館にある

### 伊那市諏訪形区からいただいたお宝を紹介しします

諏訪形公民館には、数々の「お宝」があります。けれども、あまり知られていないようであまりと残念です。そこで、「かわら版」を通じて少しずつ紹介していきたいと思います。今回は交流会があったというタイミングなので、伊那市西春近諏訪形区から寄贈されたものの一部を紹介しします。公民館にお出かけの折には、ちよっと興味を持ってご覧になってみてください。

まずは、公民館の玄関を入ったすぐの所に掲げられている諏訪形公民館の看板です。これは新諏訪形公民館落成のお祝いとして、酒井一さん(酒井建築所 伊那市西春近諏訪形区)から贈られたものです。

酒井一さんからはいくつもの彫刻額が贈られています。中でも目を引くのは「諏訪形讃歌」です。これは二〇一三年に贈られたもので、新聞記事では「構想一年」とある力作です。この額は縦一m、横一・八mの大きさで、ケヤキ、カエデ、クワ、クロガキなど、それぞれ異なる材を用いて文字が彫られています。現在は、諏訪形公民館の壁面に掲示されています。



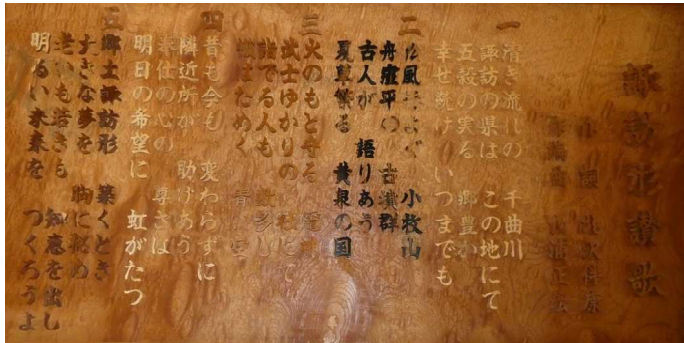
「上田小唄」の大きな彫刻もいただきましたが、これは諏訪形というよりも上田市だろう、ということでも市に寄贈しました。

また、公民館大広間北壁に飾られている書は、上田市諏訪形から伊那市諏訪形に初めてお邪魔させていただいたときに、両自治会の友好協定が締結された当時の伊那市長三沢功博伊那市長の揮毫によるものです。

このほか、北側駐車場の東端に置かれている「友好の石」や大広間のポスターなども伊那市諏訪形区からいただいたものです。また、交流三十周年を記念して、二〇〇九年(平成二十一年)に当時の小坂樫男伊那市長から贈られた「生涯現役」の色紙などもあります。

普段は目に入りながらもあまり気に留めていなかったものかもしれませんが、公民館に入ったとき、ちよっと見てみてください。

なお、公民館にはこれ以外にもいろいろな「お宝」があります。また後日紹介させていただきます。



## くるみおはぎづくり

### 「シニアクラブかてりやの会」主催の「近助料理講習会」がありました

六月二十七日(木)に二十二人の参加で、諏訪形シニアクラブかてりやの会主催の「近助料理講習会」が開かれました。かてりやの会会長大林正樹さんを講師に、

- ①やまぐさみのおはぎ
- ②インゲンとベーコンのかきたま汁
- ③トマトと青シソのサラダ

を作りました。

参加された皆さんは日頃の献立作りとは違って、おしゃべりしながらにぎやかに講師の指導の下、作っていました。くるみおはぎは、くるみだれの上におはぎを並べ、彩りに青菜をのせた、それはそれは上品な作品となりました。その他の料理も色とりどりで目でも食欲がわきました。予定どおりの時間に出来上がり、味付けや盛り付けを楽しく品評しながらおいしく頂きました。

コロナ禍で思いどおりの活動が難しくなった時期を乗り越えての今です。まだまだ感染予防には気を抜かず、過ごしたいものですが、仲間と語り合ったり、体を動かしたり、新しいことを教えてもらうチャンスは頂くと気持ちよくワクワクします。そして、少し若返るような気がします。

かてりやの会では年間を通じて様々な活動を計画しています。多くの皆様にもお知らせしていきたいと思っておりますので、ぜひ参加してみてください。お待ちしています。

投稿：諏訪形シニアクラブかてりやの会副会長 小林とみ子さん



## スマホカフェが開かれました

「難しい・わかりにくい」とか詐欺絡みなどで何かと話題になることも多い「高齢者と携帯電話・スマホ」ですが、七月十日、千曲高校生活福祉科、長野大学社会福祉学部、皆さん十人ほどを講師にお招きし、本年度諏訪形公民館に導入された「Wi-Fi」を活用しての「スマホカフェ」を開催しました。主催は「諏訪形シニアクラブかてりやの会」で、地域包括支援センターの皆さんにも手伝っていただきました。当日は各種メディアからも取材が入っていて、関心の高さが伺われました。

講座には、事前に申し込んでいたかてりやの会の皆さん十三人が集まり、講師の皆さんは受講者にマンツーマンで丁寧に指導してくれていました。いろいろな難しいところもありましたが、それでもお茶を飲みながら、和気あい

あいの講習会となりました。





今年もやります

## 城下小学校 環境整備ボランティア活動

今年も「城下小学校周辺環境美化ボランティア」の活動が始まりました。この活動は上田市教育委員会の「学校支援ボランティア」の一環として行われているもので、諏訪形の皆さんほか、中村や小牧の皆さんも参加しています。

六月五日水曜日、ちょっと暑い中でしたが、この日は十人が集まり、本年度第一回目の活動がありました。この日は、側溝の清掃やコスモス畑の草取りなどの活動に汗を流しました。



この城下小学校環境美化ボランティアの活動は、今年は十二月まで年間十一回の予定で、草取りや樹木の剪定、落ち葉の始末などを行っていく予定です。

## 城下小学校五年生の田植え体験がありました

諏訪形まちづくり協議会を中心に地域の皆さんが手伝いました

六月六日(木)薄曇りで屋外活動にはちょうどよい日、午前九時から城下小学校五年生の「田植え体験」が行われました。場所は田中の道祖神前の田んぼ(窪田和人さん所有)です。ピーチサンダルに短パンでやる気満々の子どもたち五十名ほどと担任の先生、保護者の皆さんや諏訪形まちづくり協議会のメンバー十二人も参加しました。



開会式の後、農業委員の片岡さんから苗の植え方についての説明があり、その後、子どもたちは縄の張られた場所に等間隔で並びました。素足で田んぼに踏み入れたため、水の冷たさやぬるぬるの感触に「きゃー」と声を上げながら、にぎやかに田植えが始まりました。

片岡さんや担任の先生、大人たちも子どもたちと田んぼに入り、いっしょに作業したり、うまく植えられなかったところを手直しをしたりして、一時間ほどで二〇坪の田植えが終わりました。

子どもたちは指導員、保護者の皆様に「ありがとうございました」と礼儀正しくお礼を言って、田植え体験が終了となりました。また、参加した大人の皆さんは「久しぶりに子どもたちの元気な声が聞こえて近所の方も元気をもらった」と喜んでいました。子どもたちが植えたのはモチヒカリ(もち米)という品種です。植えられた苗が子どもたちとともにすくすくと成長して、秋に収穫できることが楽しみです。なお、秋の稲刈りは九月に行う予定とのことでした。

子どもたちからはこんな感想を聞くことができました。

- ・ 植えられてよかった。田んぼがぬるぬるしていたけれど、気持ちよかった。(はるとさん)
- ・ 思ったより早くできた。深めに植えられて倒れないようにできてよかった。(ゆうまさん)
- ・ みんなで協力できてすごく楽しかった。秋がめっちゃ楽しみです。(みわこさん)

## 春の金窓寺川草刈りがありました

六月九日(木)、薄曇りで作業日和(?)の朝八時前、矢島工務店さんの駐車場にはもう、三十人近くの皆さんが集まっていた。

この日は金窓寺川沿いの草刈りの日。毎年、自治会役員や生活環境部員の皆さん、各団体の皆さんのほか、ボランティアの皆さんも募って作業を行っています。今年の参加者は例年になく参加者が多いなあ!ありがたいことです。

ラジオ体操の後、例年どおり、シール片山さん前の桜並木から深町橋までの約六五〇メートル、水路沿いの道路脇をきれいにしました。これをやらないと、見通しが悪くなったり水路に草が落ちて詰まってしまうったり、結構たいへんなことになるんですよ。



例年同様草の伸びも良く時間がかかりそうなところでしたが、さすがに大人数だと作業もはかどります。また、経験者の皆さんやベテランの方々が手際よく作業を進めてくださったこともあって、一時間半ほどできれいになりました。

金窓寺川では近年、遊水池の設置など災害防止対策が行われましたが、最近では異常気象などもあって、いつ災害が発生してもおかしくないという状況には変わりありません。そのことは日々の生活の中で忘れてはならないと思います。

この作業は秋にも行います。人手ではいくらあってもありがたいです。時間がとれる皆さん、ちょっとお手伝いいただけませんか?このような活動を通して、地域のいろいろな人たちと知り合いになれるのも良いものです。

写真は作業前(上)と作業後(左)の様子です。深町橋(矢島工務店さん西側)の様子です。



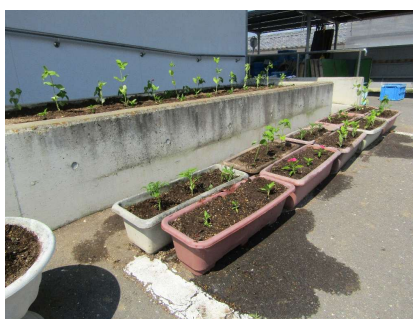
諏訪形公民館主催で

## 花いっぱい運動がありました

諏訪形分館(公民館)恒例の「花いっぱい運動」を六月八日(土)に行いました。当日は晴天のもと、子ども五人を含む総勢十六人で植え付け作業を行いました。このあと、公民館役員、小学校PTA諏訪形支部の皆さんで水やりをして、夏に向けて花を育てていきます。



当日は増沢紀代水さんからラベンダー、アロエなどおみやげ用の苗をいただき、大好評でした。植え付けを前にして、西條和男さん、高橋泰香さんには、一週間前から土づくりや苗の設置など何日もご尽力していただきました。



地域の皆さんのご尽力で公民館を彩っている花々です。どうぞお楽しみください。

投稿: 諏訪形公民館長 稲垣康史さん

## 昨年続いて諏訪形まちづくり協議会の皆さんがさつま芋をたくさん植えました

昨年発足した「さつま芋の会」ではさつま芋百本とカボチャを植え、さつま芋を地元城下保育園に寄贈したところたいへん喜んでいただき感謝の手紙を頂きました。また十一月のJA城下収穫祭で販売し、大変好評で多くの方から来年もよろしくの声が寄せられました。

昨年は時季外れとなったため、窪田和人さんが苦勞してインターネットで苗を購入しましたが、今年は地元の樋口種苗さんから、「紅あずま」「紅はるか」「シルクスイート」各百本合計三百本を購入し、六月九、十五日の二回で植えました。



植えた直後には降雨がなかったため、連日数人で水やりをしました。また、その後の降雨でほぼ全数が発根活着しました。今後は除草、追肥、蔓上げ作業などをして、収穫は九月中旬から下旬の予定です。昨年同様、寄贈やJA主催の収穫祭での販売を予定していますが、多量の収穫が見込まれますので地元での販売なども検討致します。

投稿: さつま芋の会 宮下修身さん

## 訂正とお詫び

かわら版前号で、石尊山からの眺望復活の話題を掲載しましたが、それに尽力した窪田和幸様のお名前を「窪田和草まちづくり委員」と誤記してしまいました。「窪田和幸まちづくり委員」と訂正させていただきます。大変申し訳ありませんでした。(窪田善雄さんより)